

## 第1節 富郷ダムの概要

吉野川水系銅山川は愛媛県東予地域に位置し、その源を冠山（標高1,732m）に発し、山間部を東流し、途中馬立川等を合流しながら流下し、徳島県三好郡山城町で吉野川に合流する流域面積316.5km<sup>2</sup>、流路延長62.2kmの一級河川です。

銅山川流域は四国山地の多雨地帯の一部に属し、降雨は台風期、梅雨期に集中し、その年間降雨量は、2,500mmに達します。

銅山川の水利用は、藩政期より分水構想が立てられていたのに象徴されるように水利用が盛んで、現在では柳瀬ダム（昭和29.3完成）、新宮ダム（昭和50.10完成）により宇摩地方の灌漑用水、水道用水、工業用水の水源及び発電に利用されています。特に、伊予三島市及び川之江市は、紙・パルプの用水型産業が基幹をなしています。



法皇山脈を越えて供給される銅山川の水

### ■富郷ダムの歩み

|         |                             |
|---------|-----------------------------|
| 昭和49年4月 | 実施計画調査開始。富郷ダム調査事務所開設。       |
| 昭和57年3月 | 「吉野川水系工事実施基本計画」改定。          |
| 同 年4月   | 建設事業に着手。富郷ダム工事事務所と改称。       |
| 同 年6月   | 河川予定地告知。                    |
| 昭和58年5月 | 「吉野川水系水資源開発基本計画の一部変更」告示。    |
| 同 年9月   | 「富郷ダムの建設に関する基本計画」告示。        |
| 昭和59年3月 | 「水源地域対策特別措置法」に基づくダムに指定。     |
| 同 上     | 富郷ダム工事事務所新庁舎落成。             |
| 昭和60年2月 | 「富郷ダム建設に伴う損失補償基準に関する協定書」調印。 |
| 昭和62年9月 | 「水源地域対策特別措置法」に基づく地域指定。      |
| 昭和63年3月 | 「水源地域対策特別措置法」に基づく計画決定。      |



富郷ダム（完成後）



豊波高原

## 富郷ダムの目的

富郷ダムは吉野川水系銅山川の愛媛県伊予三島市富郷町津根山地先に、多目的ダムとして建設するもので、吉野川水系の水資源開発の一環をなすものです。

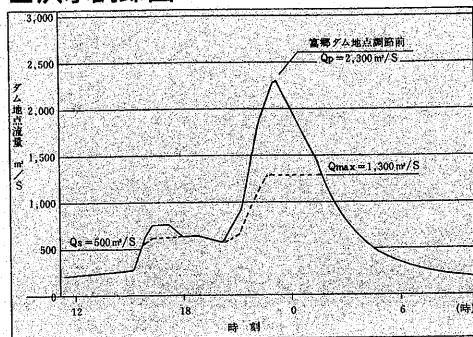
ダムは重力式コンクリートダムとして、高さ111.0m、総貯水量52,000,000m<sup>3</sup>で、洪水調節、水道用水及び工業用水の供給、発電を目的とするものです。

### 1.洪水調節

富郷ダムは洪水の際に、下流に流す洪水の量を調節して、吉野川下流沿川の尊い人命や貴重な財産を水害から守るために計画されたものです。

ダム地点の計画高水流量2,300m<sup>3</sup>/Sのうち、1,000m<sup>3</sup>/Sの洪水調節を行います。

#### ■洪水調節図

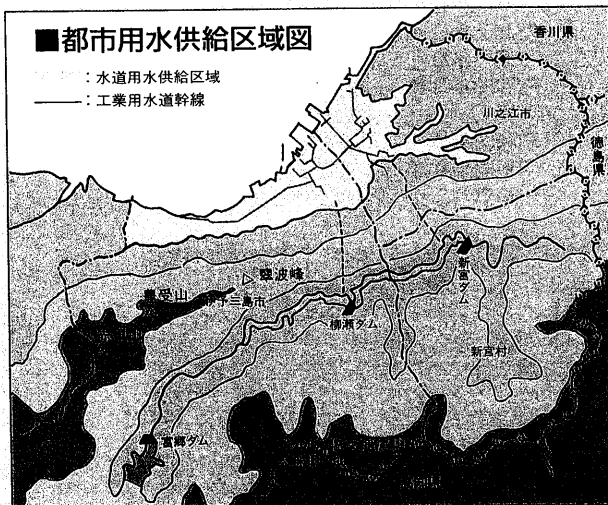


### 2.都市用水

伊予三島、川之江市では、水不足が慢性化してきており今後人口の増大、産業の発展とともに水の使用量は、さらに増大し近い将来深刻な水不足が予想されます。

富郷ダムは、この水不足を補うため、両市に対し水道用水として、日量最大45,000m<sup>3</sup>、工業用水として、日量最大128,000m<sup>3</sup>の取水を可能とします。

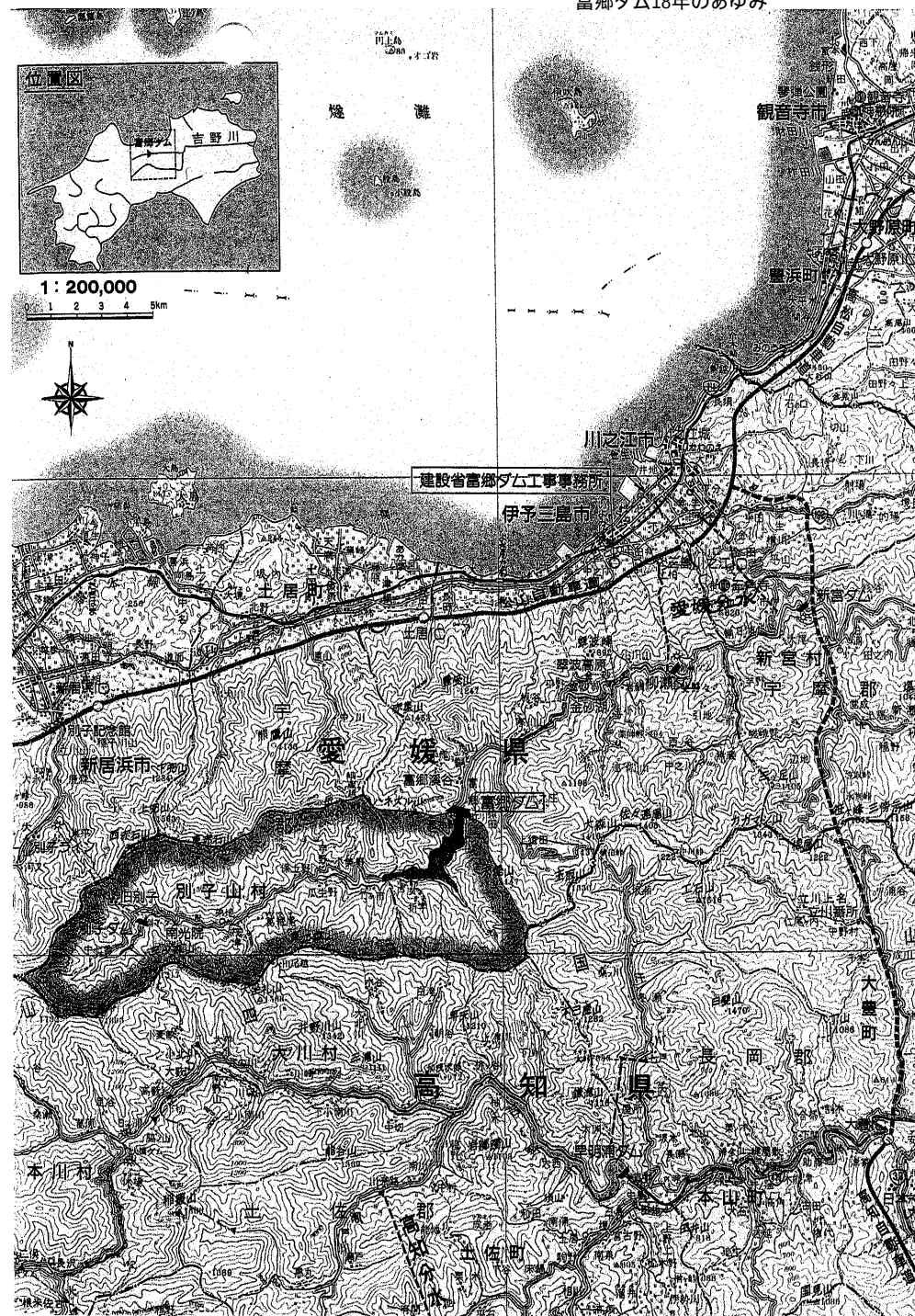
#### ■都市用水供給区域図



### 3.発電

富郷ダム建設に伴って設置される発電所において、最大出力6,500kWの発電を行います。

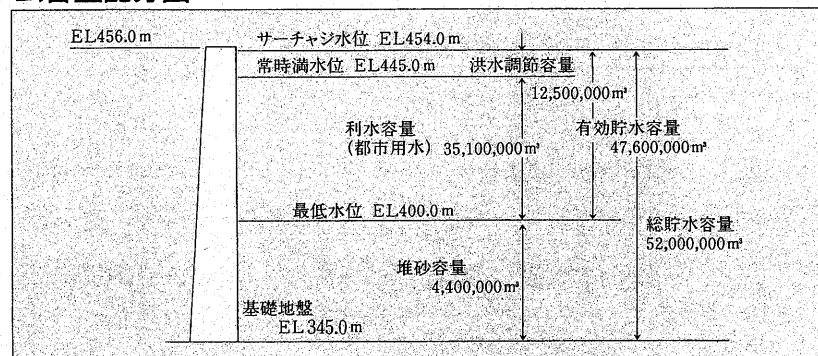
富郷ダム18年のあゆみ



## 富郷ダムの計画概要

|         |                                                              |
|---------|--------------------------------------------------------------|
| 河川名     | 吉野川水系銅山川                                                     |
| ダムサイト   | 愛媛県伊予三島市富郷町津根山                                               |
| 水没地     | 伊予三島市富郷町・宇摩郡別子山村                                             |
| 型式      | 重力式コンクリートダム                                                  |
| 堤高      | 111.0m                                                       |
| 堤頂長     | 250.0m                                                       |
| 天端標高    | EL 456.0m                                                    |
| 堤体積     | 約600,000m <sup>3</sup>                                       |
| 集水面積    | 101.2km <sup>2</sup>                                         |
| 湛水面積    | 1.5km <sup>2</sup>                                           |
| 常用洪水吐き  | 低圧オリフィスゲート 4.5m(高)×3.6m(幅)×1門<br>コンジットゲート 5.0m(高)×4.0m(幅)×2門 |
| 非常用洪水吐き | クレストゲート 9.8m(高)×7.2m(幅)×4門                                   |

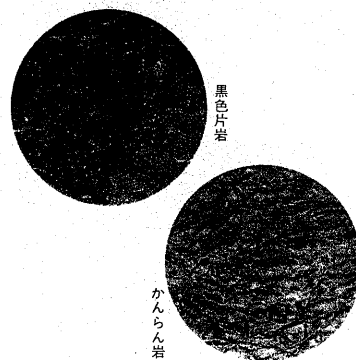
## ■ダム容量配分図



## ■地質

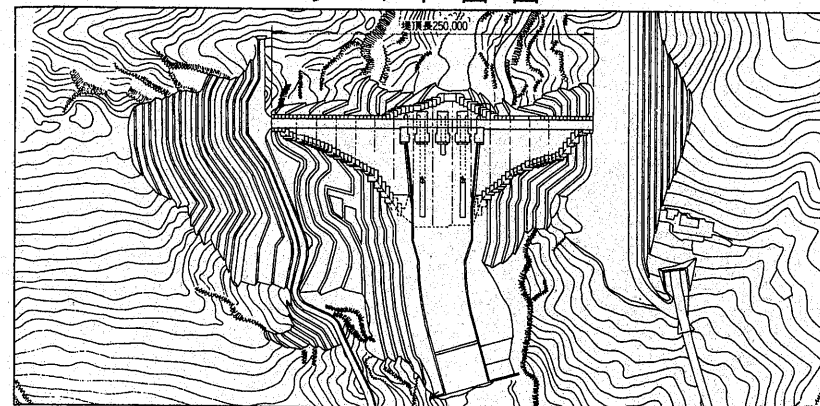
ダムサイトの地質は中央構造線と御荷鉾構造線にはさまれた三波川帯の富郷層に属し黒色片岩を主とした変成岩類と、これを買入して露出するかんらん岩体で構成されています。ダム基礎の大部分はこの買入岩体であるかんらん岩の上にのせることにしています。

四国の地質略図

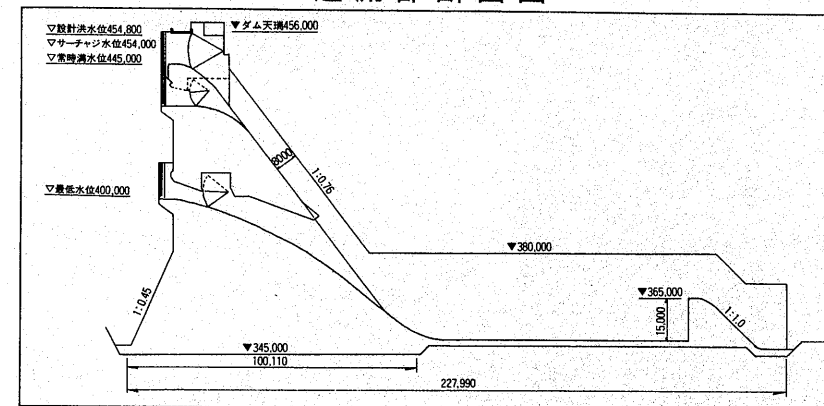


## 富郷ダムの構造

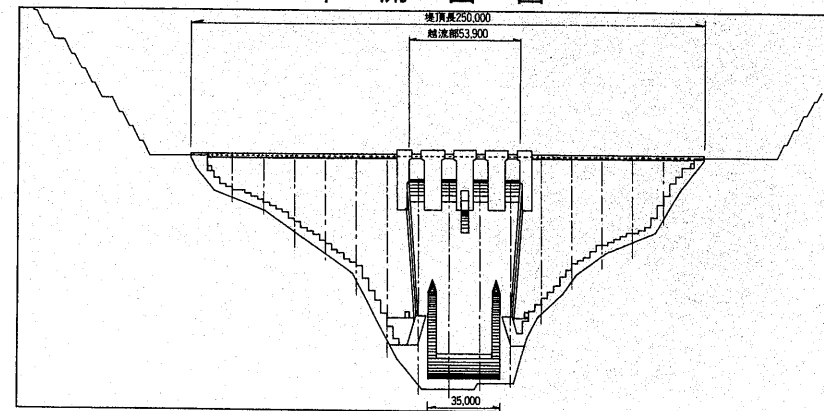
ダム平面図

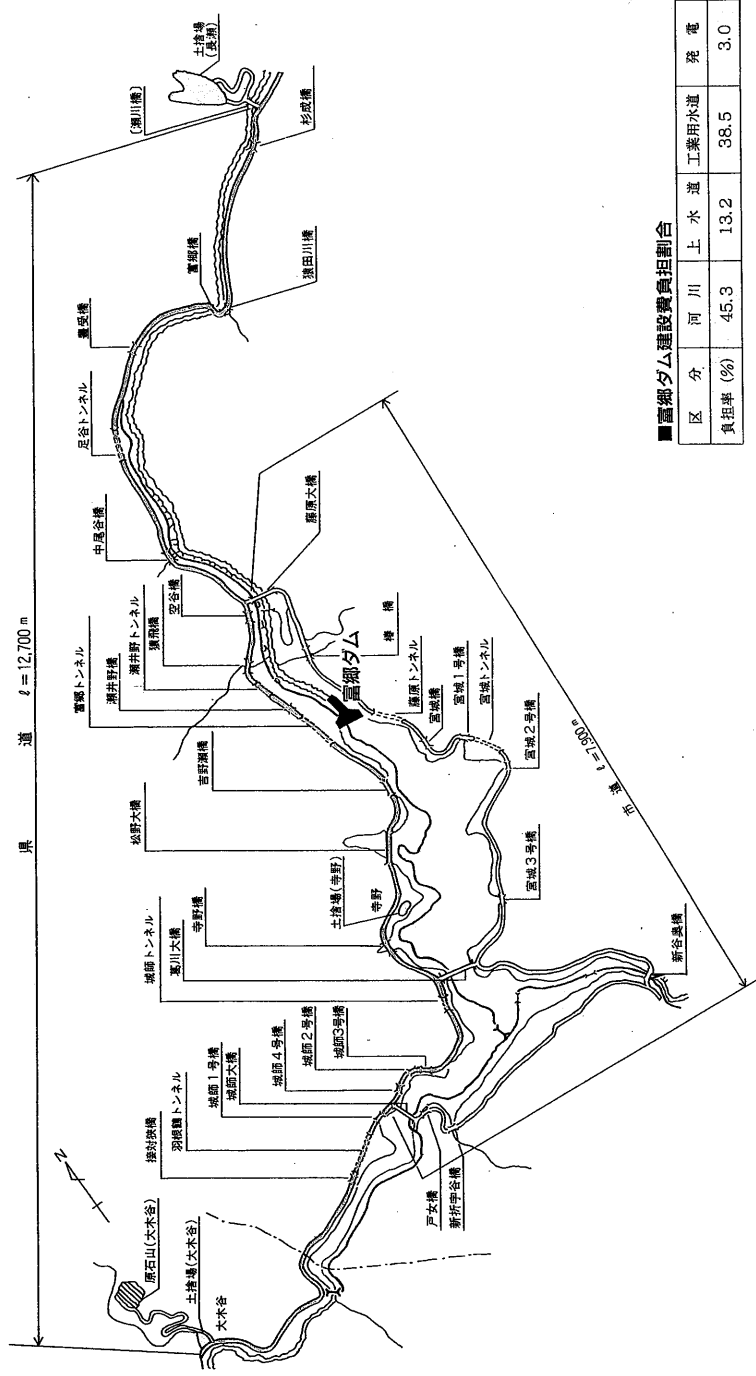


越流部断面図



下流面図





■富郷ダム建設費負担割合

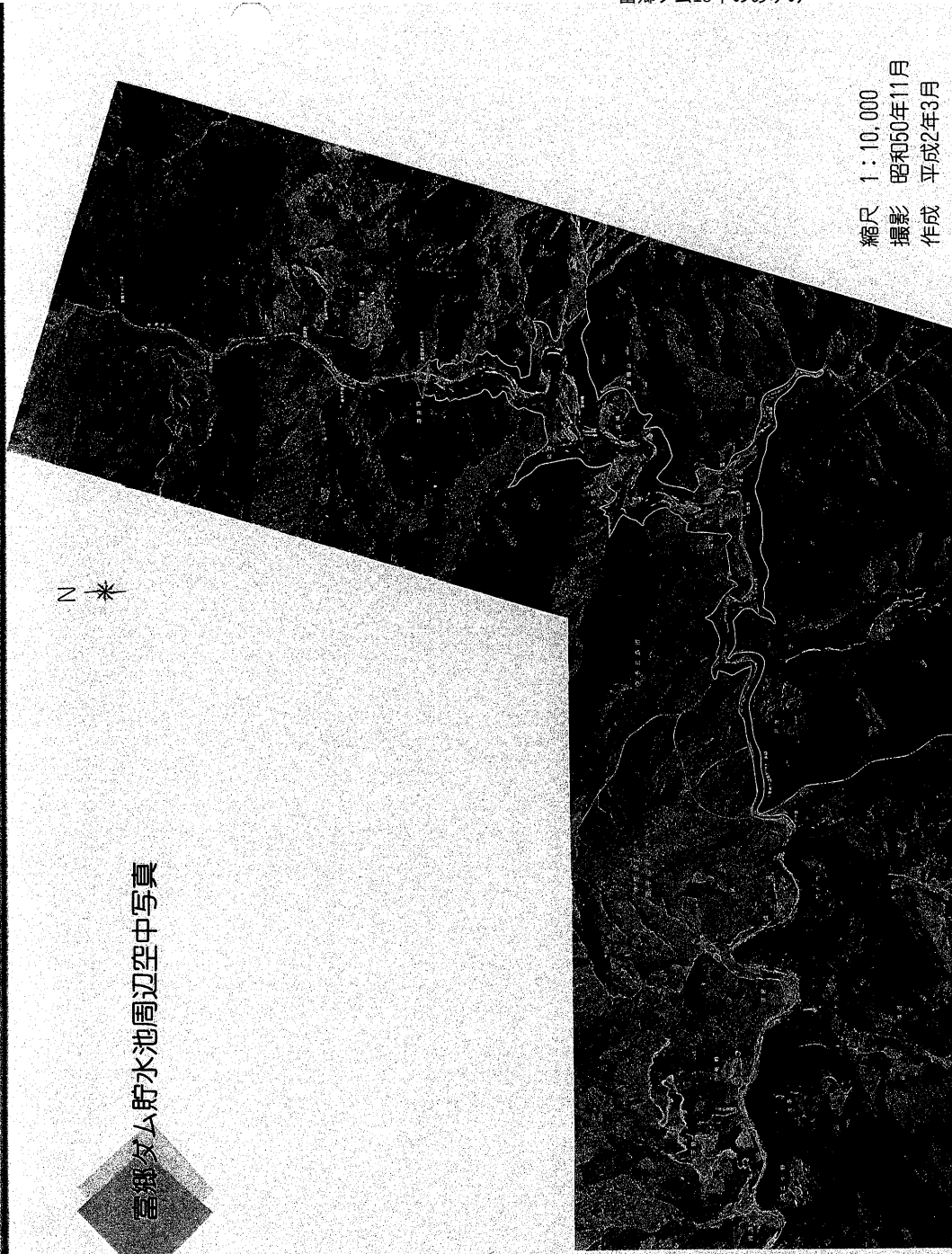
| 区分      | 河川   | 上水   | 水道   | 工業用水 | 道 | 電   |
|---------|------|------|------|------|---|-----|
| 負担率 (%) | 45.3 | 13.2 | 38.5 |      |   | 3.0 |

■補償概要

| 種別            | 細目            | 単位 | 数量    |
|---------------|---------------|----|-------|
| 一般補償<br>(貯水池) | 山林田畑<br>宅地その他 | ha | 136.9 |
| 公共補償          | 建物及び工作物<br>住家 | 戸  | 62    |
| 特殊補償          | 付替道路<br>農業    | km | 14.3  |

| 路線    | 延長       | トンネル         | 橋梁            |
|-------|----------|--------------|---------------|
| 県道    | 12,700 m | 5ヶ所: 1,036 m | 16ヶ所: 1,171 m |
| 市道    | 7,900 m  | 2ヶ所: 378 m   | 10ヶ所: 749 m   |
| 工事用道路 | 6,300 m  | —            | 2ヶ所: 200 m    |
| 計     | 26,900 m | 7ヶ所: 1,414 m | 28ヶ所: 2,120 m |

富郷ダム貯水池周辺空中写真



富郷ダム18年のあゆみ

縮尺 1 : 10,000  
撮影 昭和50年11月  
作成 平成2年3月